

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公表番号】特表2006-524053(P2006-524053A)

【公表日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2006-509391(P2006-509391)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/115	(2006.01)
C 0 7 K	16/10	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 N	7/00	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/115	
C 0 7 K	16/10	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 N	7/00	
C 1 2 P	21/02	C
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	11/00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)配列番号1またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列；

(b)デフォルトパラメータを用いたBLASTNによる判定で、配列番号1またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列に97.8%を超えて同一であるポリヌクレオチド配列；

(c)配列番号1またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列の連続した少なくとも100ヌクレオチドを含むポリヌクレオチド部分配列の実質的に全長と、ストリングエントな条件下ハイブリダイズするポリヌクレオチド配列であって、配列番号13またはそれに相補的

なポリヌクレオチド配列の対応するポリヌクレオチド部分配列にハイブリダイズする少なくとも $2\times$ 信号対雑音比で、前記ストリンジエントな条件下で配列番号1またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列のポリヌクレオチド部分配列にハイブリダイズする、前記ポリヌクレオチド配列；

(d)配列番号1またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列の連続した少なくとも10ヌクレオチドを含む少なくとも1つの特有のポリヌクレオチド部分配列を、前記特有のポリヌクレオチド部分配列が配列番号14～19またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列に含まれていない少なくとも1つの部分配列を含むという条件で含むポリヌクレオチド配列；および

(e)配列番号2～11またはその人工の保存的変異からなる群から選択されたアミノ酸配列または特有の部分配列をコードするポリヌクレオチド配列、
からなる群から選択されたポリヌクレオチド配列を含む、単離されたか、または組換え体の核酸。

【請求項2】

前記核酸がDNA、RNA、および人工の核酸からなる群から選択される、請求項1に記載の核酸。

【請求項3】

前記核酸がcDNAである、請求項2に記載の核酸。

【請求項4】

デフォルトパラメータを用いたBLASTNによる判定で、(b)のポリヌクレオチド配列が、配列番号1またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列と少なくとも98.5%同一である、請求項1に記載の核酸。

【請求項5】

(c)のポリヌクレオチド配列が、配列番号13またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列のポリヌクレオチド部分配列にハイブリダイズする少なくとも $5\times$ 信号対雑音比で、前記ストリンジエントな条件下で配列番号1またはそれに相補的なポリヌクレオチド配列のポリヌクレオチド部分配列にハイブリダイズする、請求項1に記載の核酸。

【請求項6】

人工的に突然変異された少なくとも1つのヌクレオチドを含む、請求項1に記載の核酸。

【請求項7】

前記人工的に突然変異された少なくとも1つのヌクレオチドが、1つまたは複数の、消失されたヌクレオチド、挿入されたヌクレオチド、または置換されたヌクレオチドを含む、請求項6に記載の核酸。

【請求項8】

人工的に突然変異された複数のヌクレオチドを含む、請求項6に記載の核酸。

【請求項9】

前記人工的に突然変異されたヌクレオチドが、部位特異的突然変異誘発によって導入されている、請求項6に記載の核酸。

【請求項10】

前記核酸によってコードされている少なくとも1つのポリペプチドが、少なくとも1つの、消失、挿入、または置換されたアミノ酸残基を含む、請求項6に記載の核酸。

【請求項11】

前記ポリペプチドが少なくとも1つの保存的に置換されたアミノ酸残基を含む、請求項10に記載の核酸。

【請求項12】

前記人工的に突然変異された少なくとも1つのヌクレオチドが、配列番号12のポリペプチドをコードするオープンリーディングフレーム中に位置する、請求項6に記載の核酸。

【請求項13】

前記人工的に突然変異された少なくとも1つのヌクレオチドが消失を含む、請求項12に記載の核酸。

【請求項 1 4】

配列番号12のポリペプチドをコードするオープンリーディングフレームが欠失されている、請求項13に記載の核酸。

【請求項 1 5】

配列番号12におけるアミノ酸残基164～197をコードするスクレオチドが欠失されている、請求項13に記載の核酸。

【請求項 1 6】

前記人工的に突然変異された少なくとも1つのスクレオチドが、配列番号10のポリペプチドをコードするオープンリーディングフレーム中に位置する、請求項6に記載の核酸。

【請求項 1 7】

前記人工的に突然変異された少なくとも1つのスクレオチドが欠失を含む、請求項16に記載の核酸。

【請求項 1 8】

配列番号10のポリペプチドをコードするオープンリーディングフレームが欠失されている、請求項17に記載の核酸。

【請求項 1 9】

配列番号10におけるアミノ酸残基1、アミノ酸残基4、アミノ酸残基10、またはこれらの組合せをコードする少なくとも1つのスクレオチドが突然変異されている、請求項16に記載の核酸。

【請求項 2 0】

(d)の特有のポリスクレオチド部分配列が、配列番号2～12のいずれか1つの、連続した少なくとも20アミノ酸残基をコードする、請求項1に記載の核酸。

【請求項 2 1】

(d)の特有のポリスクレオチド部分配列が、配列番号2～12のいずれか1つの、連続した少なくとも50アミノ酸残基をコードする、請求項20に記載の核酸。

【請求項 2 2】

(d)の特有のポリスクレオチド部分配列が、配列番号2～12のいずれか1つの、連続した少なくとも100アミノ酸残基をコードする、請求項21に記載の核酸。

【請求項 2 3】

(d)の特有のポリスクレオチド部分配列が、配列番号2～12のいずれか1つの、連続した少なくとも200アミノ酸残基をコードする、請求項22に記載の核酸。

【請求項 2 4】

(d)の特有のポリスクレオチド部分配列が少なくとも1つの完全なオープンリーディングフレームを含む、請求項1に記載の核酸。

【請求項 2 5】

前記完全なオープンリーディングフレームが配列番号2～12からなる群から選択されたポリペプチドをコードする、請求項24に記載の核酸。

【請求項 2 6】

複数の完全なオープンリーディングフレームを含む、請求項24に記載の核酸。

【請求項 2 7】

(d)の核酸が、異なったウイルス株に由来する少なくとも1つのポリスクレオチド部分配列をさらに含む、請求項1に記載の核酸。

【請求項 2 8】

前記異なったウイルス株が、ヒトRSVの異なった株である、請求項27に記載の核酸。

【請求項 2 9】

前記異なったウイルス株が、異なったウイルス種である、請求項27に記載の核酸。

【請求項 3 0】

前記核酸が、配列番号1の少なくとも1つの完全なオープンリーディングフレームと、異なるウイルス株の少なくとも1つの完全なオープンリーディングフレームとを含む、請求項27に記載の核酸。

【請求項 3 1】

請求項1に記載の核酸を含むベクター。

【請求項 3 2】

請求項31に記載のベクターが導入されている宿主細胞。

【請求項 3 3】

組換え体の呼吸器合胞体ウイルスを生成する方法であって、

請求項32に記載の宿主細胞を、適当な培養培地で、前記核酸の発現を可能にする条件下で培養するステップと、

前記宿主細胞および/または培地から組換え体呼吸器合胞体ウイルスを単離するステップと、

を含む方法。

【請求項 3 4】

請求項33に記載の方法で生成された組換え体呼吸器合胞体ウイルス。

【請求項 3 5】

請求項1に記載の核酸を含む組換え体呼吸器合胞体ウイルス。

【請求項 3 6】

前記核酸が人工的に突然変異された少なくとも1つのヌクレオチドを含む、請求項35に記載の組換え体呼吸器合胞体ウイルス。

【請求項 3 7】

配列番号12のポリペプチドをコードするオープンリーディングフレームが欠失されている、請求項36に記載の組換え体呼吸器合胞体ウイルス。

【請求項 3 8】

配列番号10のポリペプチドをコードするオープンリーディングフレームが欠失されている、請求項36に記載の組換え体呼吸器合胞体ウイルス。